

宇美町

エコトリコ

(2016年広報9月号)



本年7月に「昨年の世界の平均気温が観測史上最高となった」と英国気象庁から発表がありました。同庁によると『1961年～1990年の平均気温を0・75℃上回った』とのことでした。米国海洋大気局の発表では、「2014年～2015年にかけての地表と海面の温度上昇幅も過去最大で、北極海の氷の面積は過去最少となった」とありました。これは、海外での発表とはいえ決して他人事ではありません。

0グラムのCO₂が大気に排出されません。他車に迷惑をかけるようなゆっくり過ぎる運転は交通の流れを悪くし、逆に燃費の悪化を招くことになります。が、急発進・急加速をやめるように心がけるだけで2～3割の燃費改善は可能です。当然ですが、省燃費は経費の削減につながります。自分では省燃費運転を心がけているつもりでも、意外とそうでもなかったり、もっと良くなる方法に気が付いてなったりします。福岡県では地球温暖化防止策の一つとして、依頼があれば県内の事業所や、地域に出向いて省燃費運転(エコドライブ)の講習会を開いています。費用はかかりませんので、役場環境課にお問い合わせください。

近年、地球環境の改善と地下資源の有効活用のために、低燃費車の普及が進んでいます。日本では、各国に先駆けて、ハイブリッド車・電気自動車・燃料電池車を開発し、その普及促進のために購入時の補助金を出したり、自動車税の軽減などの優遇策を実施しています。エンジンの効率化や電気モーターとの併用などで自動車の燃費は改善されてきましたが、その車を運転するドライバーによって燃費が違ってくることは今も昔も変わっていません。いかに低燃費が売りの車でも一気にアクセルを深く踏み込むと、瞬間燃費計はリッター当たり2～3kmを表示します。ちなみに、1リットルのガソリンを消費すると、2300グラム、灯油だと2500グラム、軽油だと2600



文責 福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆